

「旅する本箱」
サイン・リーフレットデザインコンセプト

} 2 Space

2024 12 18

「旅する本箱」：ピクトグラムサインロゴ

「旅する本箱」の特徴である“本箱が旅をしながら自分のもとにやってくる”というコンセプトから、旅行カバンにたくさんの本が詰められて届けられるイメージを描きました。そのイメージをピクトグラムに反映し、多くの人に直感的に伝わるよう「四角い箱」で本箱を表現し、その中に本を配置しました。そこに旅を連想させる、旅行カバンの「取っ手」と「タグ」を付け、これらを公共のピクトグラムと並んだ時でも調和するよう、シンプルなデザインにまとめました。



ロゴタイプ（書体）

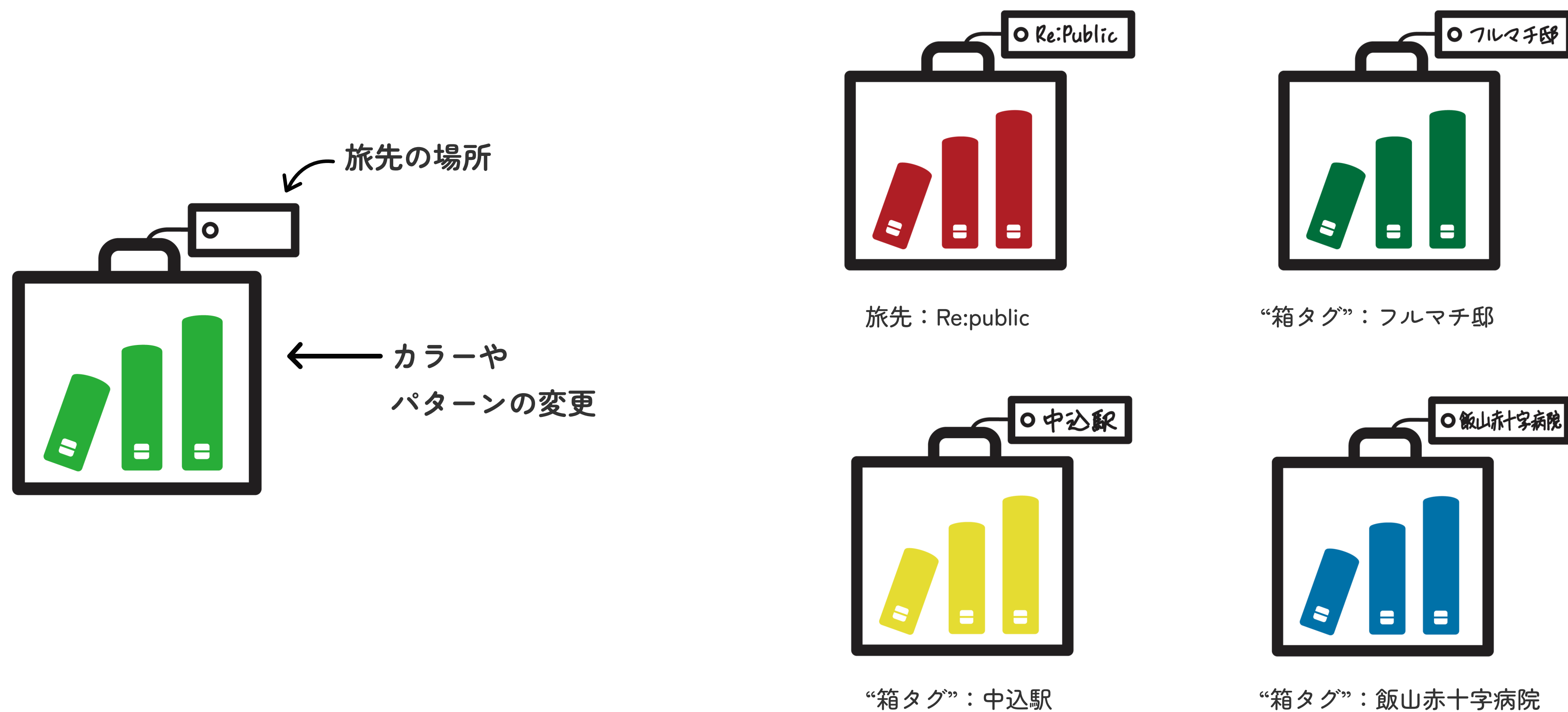
多くの人に感想やコメントを書いてもらうという特徴から書き込む人の文字をイメージしやすいよう手書き風書体を選択しました

色・派生パターン

県立長野図書館・長野市で使用されているグリーンを選定しました。その他、派生系として別の色やパターンなども用意するとロゴから広がりを持たせることが可能です（次ページ）

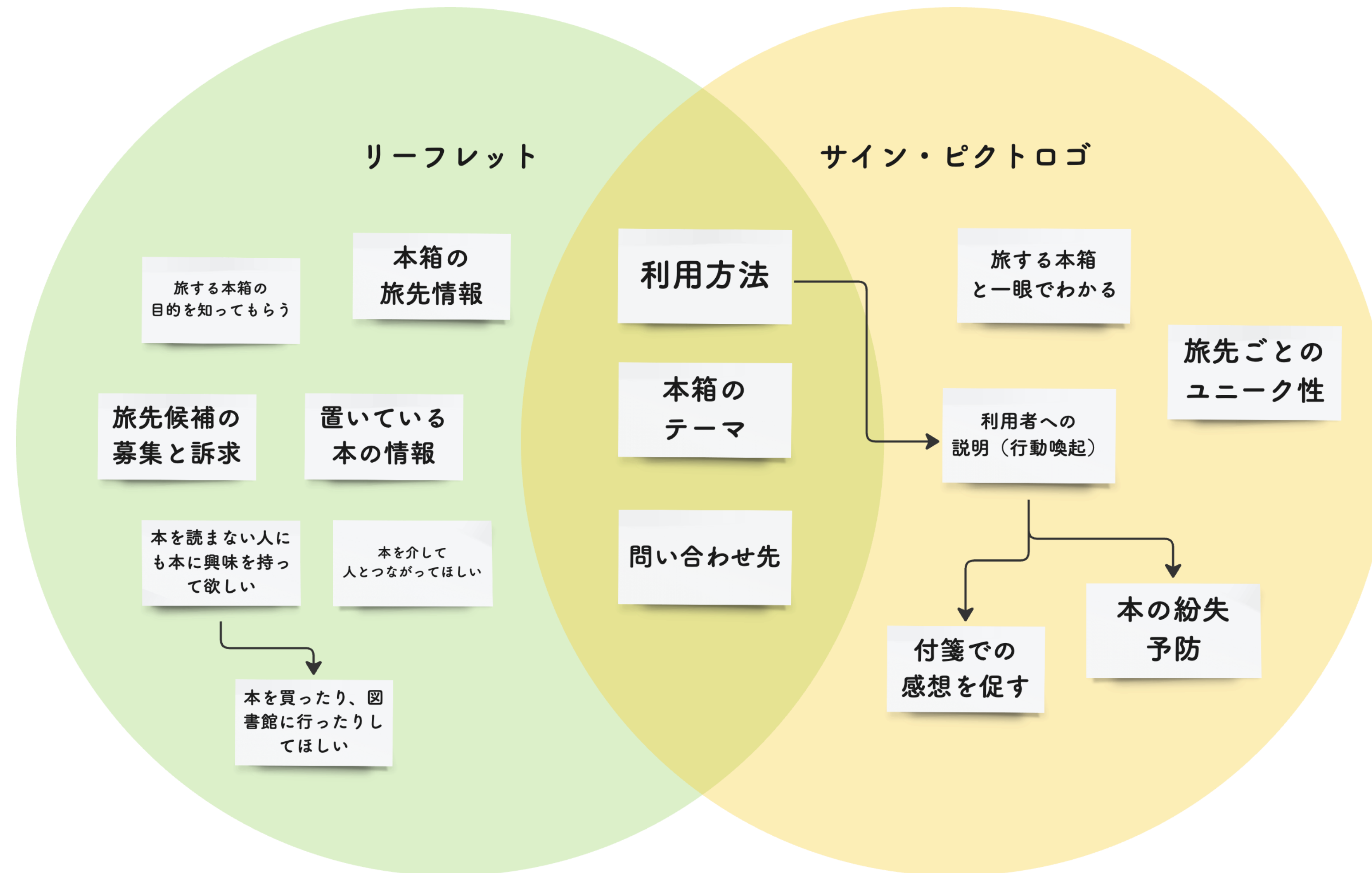
「旅する本箱」：ピクトグラムサインロゴ

旅によって、以下のように本（旅本）の色やパターンを変更したり、タグに旅先を記したりカスタマイズすることが容易にできます。



「旅する本箱」：制作物の目的や伝えたい情報

ヒアリングの中で出てきた、各制作物が必要とする情報の図



「旅する本箱」：リーフレットの役割

ここから、「旅する本箱」を多くの人に利用してもらうために必要なツールとしてリーフレットが果たす役割を以下の3点にまとめました。

「旅する本箱」の **使い方を知ってもらう**

「旅する本箱」の **ストーリーを知ってもらう**

「旅する本箱」に **参加してもらう**

「旅する本箱」：リーフレット

「旅する本箱」の 使い方を知ってもらう

『旅する本箱』のしくみ

『旅する本箱』は信州中に設置されたミニ図書館です。
さまざまなテーマに分かれた本箱が一定期間ごとに旅先を
巡ります。普段本に接する機会の少ない場所から場所へ。
ぜひ気軽に立ち寄って、新しい本との出会いを楽しんでください！

本箱のテーマ



SFはもちろん他にも



休みがあったらどんなことしたい？



思わず唾を飲み込むような



旅？それとも・・・？



本箱の旅先



〒399-9301 北安曇郡白馬村北城 7078



〒389-2295 飯山市大字飯山 226-1



〒399-3303 下伊那郡松川町元大曲 652-2

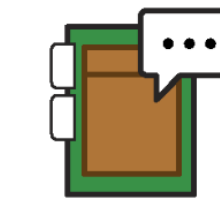


〒385-0051 佐久市中込 2021

2024 年 11 月時点

『旅する本箱』のつかいかた

『旅する本について』



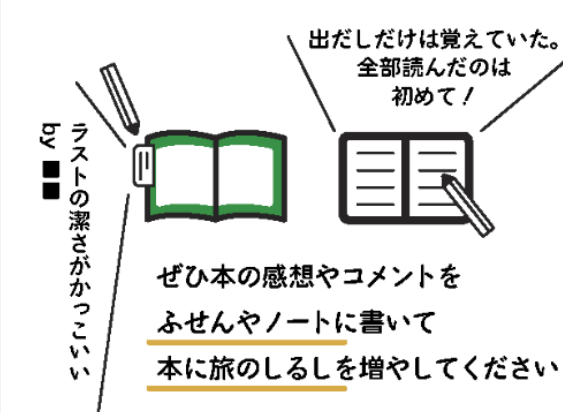
本には選んだ人のメッセージや
読んだ人の感想など旅をしてきた
しるしがついています

『どこで読めるの？』

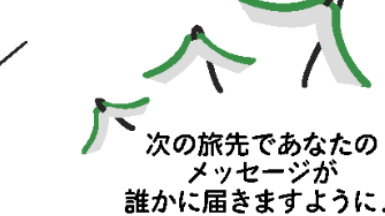


本箱の本は建物内で自由に読んで
もらって大丈夫です。「旅先」に
よっては借りることも可能です！

『旅のしるしを残そう！』



ぜひ本の感想やコメントを
ふせんやノートに書いて
本に旅のしるしを増やしてください！



『旅する本箱』
公式 Facebook

お問合せ：県立長野図書館 総務企画課 企画係
電話 026-228-4939 メール ken-tosho@library.pref.nagano.jp
「旅する本箱」運営：県立長野図書館 / Learn by Creation NAGANO 実行委員会

「旅する本箱」：リーフレット

「旅する本箱」のストーリーを知ってもらう

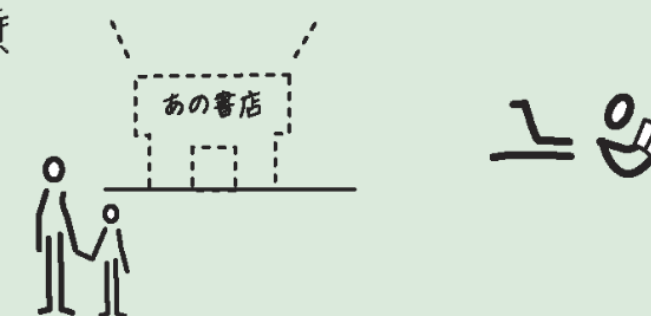
旅する本箱のストーリー

皆さんは、本とどんな風に出会っていますか？

本屋さんや図書館など本がたくさん置いてある場所に行ったり
ネットで必要な本を探したりいろいろな方法があると思います。

でも：本屋さんになくなってしまったり、図書館が遠かったり、
普段なかなか本がある場所に行かない、行けないという人も
多くいるのではないのでしょうか。

そういった本との出会いが減ってしまった人たちにも
本を身近に感じてもらえる何かいい方法はないだろうか考えた時、
「人が本を探しに行くのではなく、本の方から人のいる場所へ
訪れたらどうだろう？」と発想を変えてみました。



まるでサーカス一行が旅をしながらが街にやってくるように
自分にとつての日常に期間限定で非日常がやってくる。
そんなイメージを持つてみんなで話し合いをはじめました。
その中で決まったのは・・・

- ・本は一つの場所に留まらずにいろいろな場所を巡ること
- ・本箱ごとにテーマを決めて本を詰め込むこと
- ・本には誰でも自由にメッセージをつけられること

そこから本の旅支度が始まりました。

まずは、本好きのみなさんと本箱ごとにテーマを考え、
そのテーマに沿った選りすぐりの本を選びました。

そして本箱を置いてくれる旅先を募り、
信州各地の々々の旅先が最初に決まりました。



最後に、選んだ人たちのメッセージを本に残して
本箱に詰め込み、信州中の旅先へと送り出しました。

こうして本が旅をする様に、信州中の旅先を巡る
『旅する本箱』がスタートしました。



『旅する本箱』は、県立長野図書館と

Learn by Creation NAGANOの協働によるプロジェクトです。

本との新しい出会い、本を介して、
時間と空間を超えた新しい人と人との出逢いが
生まれることを願っています。



「旅する本箱」：リーフレット

「旅する本箱」に 参加してもらう

旅する本箱の“利用者”として参加したい、または“旅先のオーナー”として参加したいと思っ
てもらえるような情報を以下から提供します

- ・ 旅先マップ
- ・ Q&A（よくいただくご質問）
- ・ 旅先オーナー募集
- ・ 利用者ツール

今回練りたい空白部分

「利用者ツール」

あったら参加しやすいような
機能は？

現在困っていることを改善
できるような機能など

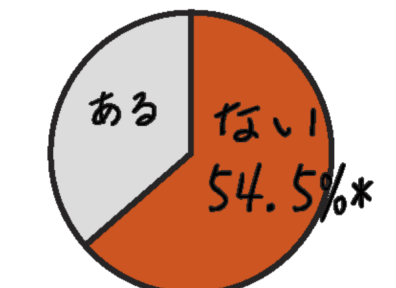
「旅先オーナー募集」

募集の理由や今後の展望、
現在のオーナーの声など

長野県の本屋さん
“ない”市町村の数

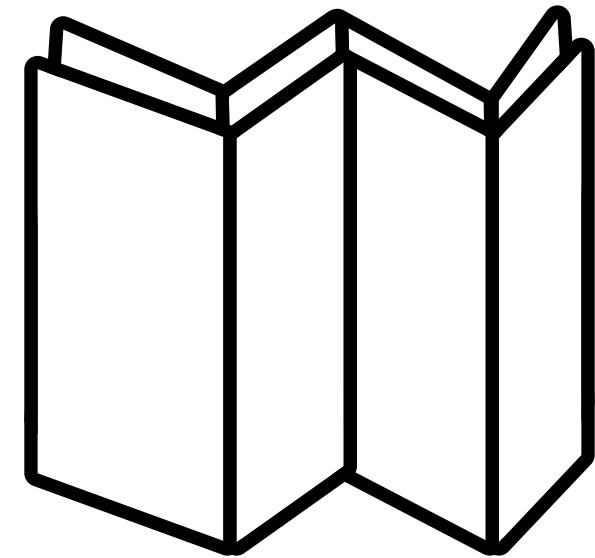
42 / 77 市町村

無書店率は
全国ワースト2位



* 1書店以下は71%
出版文化産業振興財団調べ

「旅する本箱」：リーフレット（オモテ・レイアウト案）



レイアウト

持ち運びながら読んでいただけるよう、なるべくコンパクトに折りたためる形が良いのではと考えました。
そのため、横半分に折り、その後4つ折りにする形式をご提案いたします

1 山折り



3 山折り



2 谷折り



4 山折り



利用者のためのツール

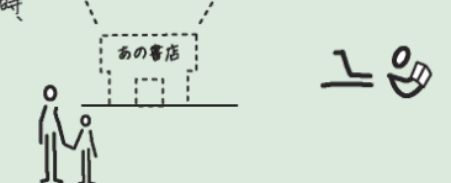
『旅する本箱』は、県立長野図書館と Learn by Creation NAGANO の協働プロジェクトです。
本との新しい出会い、本を介して、時間と空間を超えた新しい人との出会いが生まれることを願っています。



最後に、選んだ人たちのメッセージを本に残して、本箱に詰め込め、信州中の旅先へと送り出しました。
一つとして本が旅をする様子は、信州中の旅先を巡る『旅する本箱』がスタートしました。



皆さんは、本とどんな風に出会っていますか？
本屋さんや図書館など本がたくわえられている場所に行ったり、ネットで必要な本を探したり、いろいろな方法があると思います。
でも、本屋さんがないところに行ったり、図書館が遠かったり、普段は読まない本がある場所に行けない、行けないという人も多くいるのではないのでしょうか。
そう、いつか本との出会いが減ってしまったり、本が遠くに行ってしまうのは、本を身近に感じてもらういい方法はないだろうか？と考えた時、「人が本を探しに行くのではなく、本の代わりに人のいる場所へ訪れたらどうだろうか？」と発想を変えてみました。



「旅する本箱」：リーフレット（ウラ・レイアウト案）

旅先マップ

と泊まれる本屋 Re:Public
〒399-9301 北安曇郡白馬村北城 7078

ほくばもら 白馬村

県立長野図書館

さくし 佐久市

まつかわまち 松川町

てい ゲストハウス フルマチ邸
furumachi tei
〒399-3303 下伊豆郡松川町元大倉 652-2

なかごみえき JR 中込駅 (待合室)
〒386-0051 佐久市中込 2021

いいやまし 飯山市

いいやませまじゅうじびょういん 飯山赤十字病院
(1F エントランスホール)
〒389-2295 飯山市大字飯山 226-1

旅先オーナーになられますか？

文章

長野県の本屋さんがない市町村の数は 42/77 市町村

無書店率は 全国ワースト2位

ある ない 54.5%*

*1書店以下は71% 出版文化産業振興財団調べ

文章

写真1

写真2

「旅する本箱」旅先募集連絡先
〒380-0928
長野県長野市若里1-1-4
県立長野図書館 総務企画課 企画係
電話 026-228-4939
Mail ken-tosho@library.pref.nagano.jp

よくいただく質問

Q 旅先になるために必要なものは？

A 本箱を設置するための場所のみです。物品等は必要ありません。

Q 費用はかかりますか？

A 費用負担はありません。

Q 本は集める必要がありますか？

A ありません。本はこちらで用意しますが、本を選ぶ作業に参加いただけると嬉しいです。

Q 管理はどのようにすればいいでしょう？

A 設置をしたら利用者の皆さんには基本は設置場所で読んでもらいます。持出（貸出）をする場合はノートなどで貸出簿を作成・管理をお願いいたします。

旅する本箱の本たち

『民俗学の旅』
宮本常一
旅に出て、スマホの画面だけを眺めている君/旅に出ることは目的地に行くことではない/宮本常一が息子に語った十か条が採録されたこの本は、どこでもドアでは味わえない「旅」を語ってくれる。(ぶらた・森)

『旅の絵本』
安野光雅
字のない絵本です。読んだ人それぞれが創造する物語があるといます。どんな旅に行かれたのか、氣になりますね。(つぐら)

『クラタとおひさま』
カズオ・イングロ
人工的に作られた友達 (AF) クラタの純粋な心の美しさと、人間の身体手さとの対比に考えさせられる作品。小学校高学年からおススメです。いま世間を騒がせている AI とは、一体何のために、誰のために発展していくのでしょうか？これからの未来を生き抜く当事者の子どもたちにこそ読んで欲しい物語です。読後感は美しくも切ないです。(おおさん)

『鋼鉄都市』
アイザック・アシモフ
アシモフのロボット三原則の原点を突いた SF ミステリーです。ロボットや AI と共存する世界の参考になるのでは？ (こはゆた)

『はくはいったどこにいたんだ』
ヨシタケ シンスケ
絵本であっても考えさせられる。そんな作風のヨシタケ シンスケが一作。自分のつかまえた“について、ゆっくり考えてみる一週間とかどうか。どこかに出かけて、書き足して。また何かして……みたいなの。(片雪)

『ツリーハウスがほしいなら』
カーター・ヒューズ/文 エミリー・ヒューズ/絵
本の上に家を作る。空想するだけで、ゾクゾクします。お気に入りのものに囲まれた、自分だけの天空の城。窓から見える景色はどんなだろう？ 時々、小動物や鳥が窓から遊びに来てくれたら嬉しいかも。あなたなら、どんなツリーハウスにする？ (izumimi)

『世界の郷土料理事典』
青木 ゆり子
「今日は日曜だし何かここにあるものから作ってみるか」と思いつくページを開くとあっという間に1時間ぐらい経っていて結局何をつくるか全く決まらない。でも、金に行ったこともなければ一生行くこともないようなモータニアの郷土料理が今は不思議と我が家の定番料理になっています。(sun)

『世界の台所探検』
岡橋谷実重・著
世界の台所探検家の岡橋谷さんは、長野県出身です。実は、高校で同じ学年だったので、今こんな活動をしているのに驚きました。ただ料理と一緒に作るだけでなく、そこからその国や地域で暮らす人たちのことがわかってきます。知らない世界を教えてください。(とよみ)